

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

事業の概要		事業開始年度	昭和62年～	根拠法令・例規等	下水道法、水質汚濁防止法	
総合計画	大項目	基本構想	05	生活環境政策「快適・活力」	問 合 先	
	中項目	基本計画	08	快適な生活が送れるまち		担当課(室)
	小項目	施策	33	生活排水の適正処理		下水道課
事務事業名		05	公共下水道施設管理事業		職・氏名	
					参事・初治慎一	
					電話	
					0869-63-2330	
					このシート作成に要した時間	
					5.5 時間	

事業の目的		Plan
対象(誰・何に対して)	下水道使用者及び片上・吉永地区の雨水対象者	
目的(何のために)	公共用水域の水質保全のために、流入下水を浄化し放流する。	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	処理場施設の適正な維持管理に努め、下水を処理することにより、公共用水域の水質保全および生活環境の改善を図る。	

事業の実績		事業の説明		優先度
目的を達成するための実施した事業	細事業名	事業の説明		
	浄化センター外管理事業	汚水処理を目的に設置した4箇所の浄化センターの運転管理、水質分析、データ管理		◎
		汚水送水を目的に設置した4箇所の中継ポンプ場の運転管理		○
		雨水排水を目的に設置した2箇所の雨水ポンプ場の運転管理(片上・吉永)		○
		汚水送水を目的に設置したマンホールポンプの運転管理		○
	管渠施設管理事業	事業場から排水される汚水の水質調査及び指導		▲
		下水道管渠等の健全な管理のため、管渠やマンホールポンプの点検・清掃を行い、安全な通行を確保するため、マンホール周辺の路面修繕を行った。		○
	長寿命化対策事業	日生浄化センターの長寿命化対策事業として、土木・建築・機械・電気設備の耐震診断等の結果に基づき、実施設計業務を行った。		○

事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
事業費	直接事業費	千円	393,626	380,202	309,883
	必要人員費	千円	3.25人	30,513	3.12人
算額	事業費計	千円	424,139	409,130	340,439
	国県支出金	千円	18,200	9,750	3,116
財源	受益者負担				
	繰入金債				
その他(一般財源)					
受益者負担比率		%	405,939	399,380	337,323
結果指標名		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
結果指標	説明		汚水を浄化し公共用水域へ放流した水量		
	結果指標量	m	3,825,033	3,699,578	3,743,716
	対前年比	%	-	96.7%	101.2%
	活動コスト	円	424,139,254	409,129,696	340,439,413
単位当たりコスト			111	111	91

事業の成果		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値
成果指標名	目標値(A)		15.0	15.0	15.0	15.0
	実績値(B)		8.4	8.4	8.1	到達目標値
	達成率(A/B)		178.6%	178.6%	185.2%	15mg/l以下
成果指標設定の考え方・式や説明						
COD(化学的酸素要求量)は、海域と湖沼の排水基準に用いられ、水中の有機物を酸化剤(薬品)によって酸化するのに消費される酸素量を示す。実績値の値が大きすぎると汚れが大きく、目標値以下でなければならない。(目標値>達成値=目標値÷実績値は100%以上でなければならない。)						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください >		Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある		妥当性評価 A B C D E 高や中や低 いや通やい 高 低 い
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている		効率性評価 A B C D E 高や中や低 いや通やい 高 低 い
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている		有効性評価 A B C D E 高や中や低 いや通やい 高 低 い
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		C

進行年度(H26年度)の改革改善内容		状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		状況		○					
説明		経年により老朽化が進んでいる施設(日生浄化センター)は、長寿命化対策事業の実施設計に基づき、改築工事を実施していく。維持管理業務は、効率的、経済的な施設の点検整備を進める。							

総合評価		総合評価
処理コスト(電気料金、薬剤費用、汚泥処理費)を抑えるよう努力しつつ、処理場機能を最大限に発揮できるよう運転管理を行う。		総合評価 A B C D E 高や中や低 いや通やい 高 低 い

平成27年度の方向性・取組目標		方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		方向性		○					
取組目標		計画的な点検整備による、効率的・経済的な施設管理を実施していく。また、長寿命化計画を基き、施設(日生浄化センター)の円滑な改築を推進していく。							

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標に留意しな